

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和5年第39週の発生動向

トピックス

インフルエンザ(定点把握対象の疾患)

高鍋保健所管内のインフルエンザの定点当たり報告数が33.5と流行警報レベル開始基準値である「30」を超えた。宮崎県全体の定点当たりの報告数は16.3で先週比約1.2倍と増加しており、依然として流行注意報レベル基準値である「10」を超えているため、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

全数報告の感染症(39週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：レジオネラ症1例。5類感染症：ウイルス性肝炎1例、梅毒2例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	20歳代	女	右頸部結核	咳、右頸部リンパ節腫脹
4類	レジオネラ症	宮崎市	30歳代	男	肺炎型	発熱、呼吸困難、肺炎
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	20歳代	男	B型	黄疸、食欲不振
	梅毒	宮崎市	40歳代	女	早期顕症梅毒Ⅱ期	丘疹性梅毒疹
		延岡	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は2,014人(定点当たり41.2)で、前週比117%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び手足口病で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【新型コロナウイルス感染症】

報告数は545人(9.4)で、前週比84%と減少した。延岡(15.3)、高鍋(12.5)、日南(9.6)保健所の報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

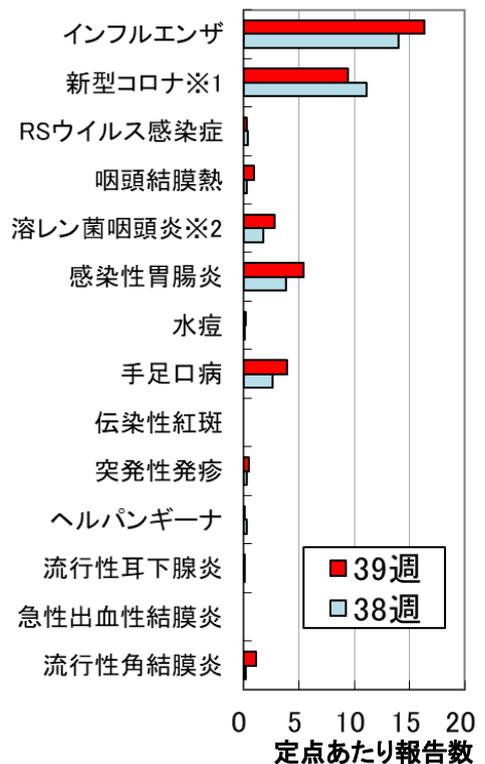
【インフルエンザ】

報告数は946人(16.3)で、前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.27)の約61.3倍であった。高鍋(33.5)、延岡(23.7)、日南(22.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【手足口病】

報告数は141人(3.9)で、前週比147%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約2.3倍であった。小林(10.7)、宮崎市(5.0)、中央(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

《前週との比較》

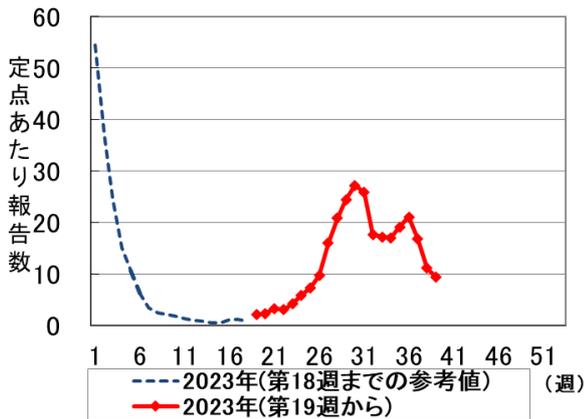


※1 新型コロナウイルス感染症

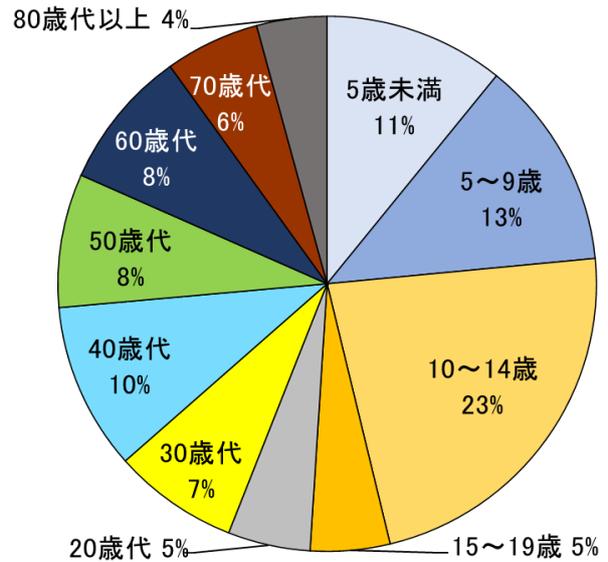
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

新型コロナウイルス感染症 発生状況

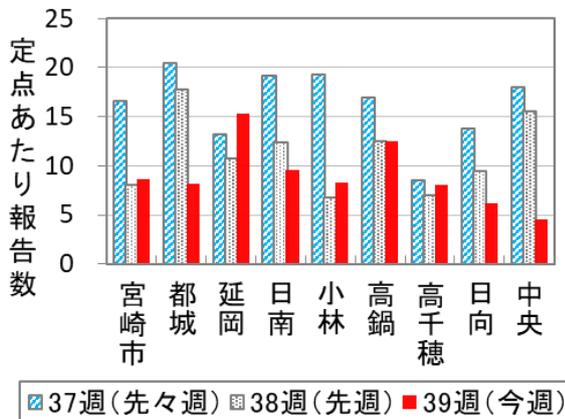


新型コロナウイルス感染症年齢群別グラフ(第39週)

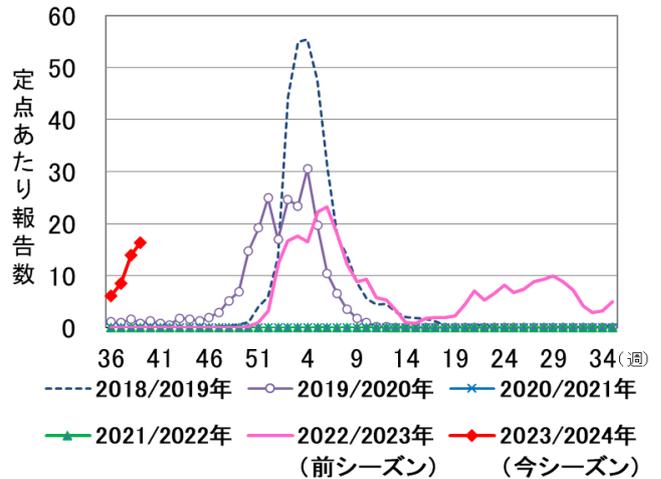


※新型コロナウイルス感染症の第1週～第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

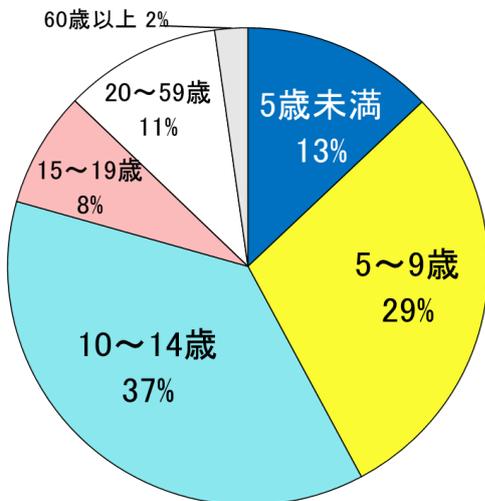
新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



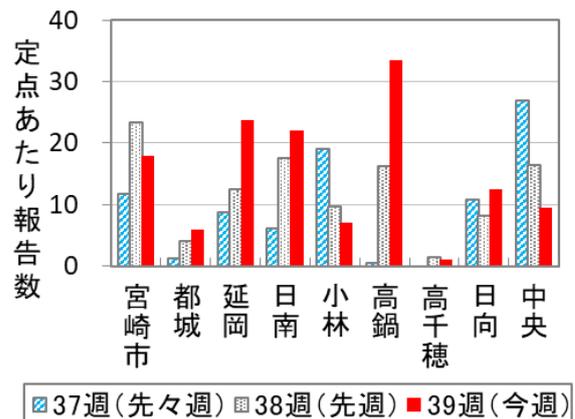
インフルエンザ 発生状況



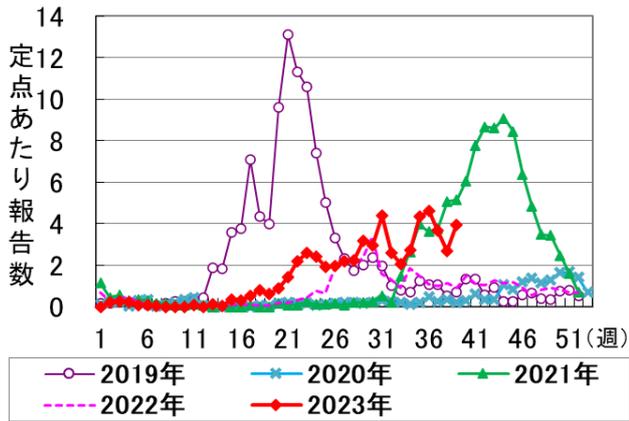
インフルエンザ年齢群別グラフ(第39週)



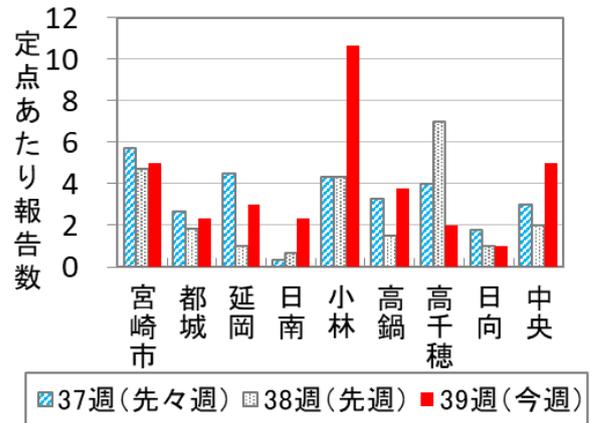
インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



手足口病 発生状況



手足口病 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	インフルエンザ(17.9)、手足口病(5.0)
都城	なし
延岡	インフルエンザ(23.7)
日南	インフルエンザ(22.0)
小林	咽頭結膜熱(3.0)、手足口病(10.7)
高鍋	インフルエンザ(33.5)
高千穂	なし
日向	インフルエンザ(12.5)、水痘(1.5)
中央	咽頭結膜熱(5.0)、手足口病(5.0)

※流行警報レベル開始基準値※

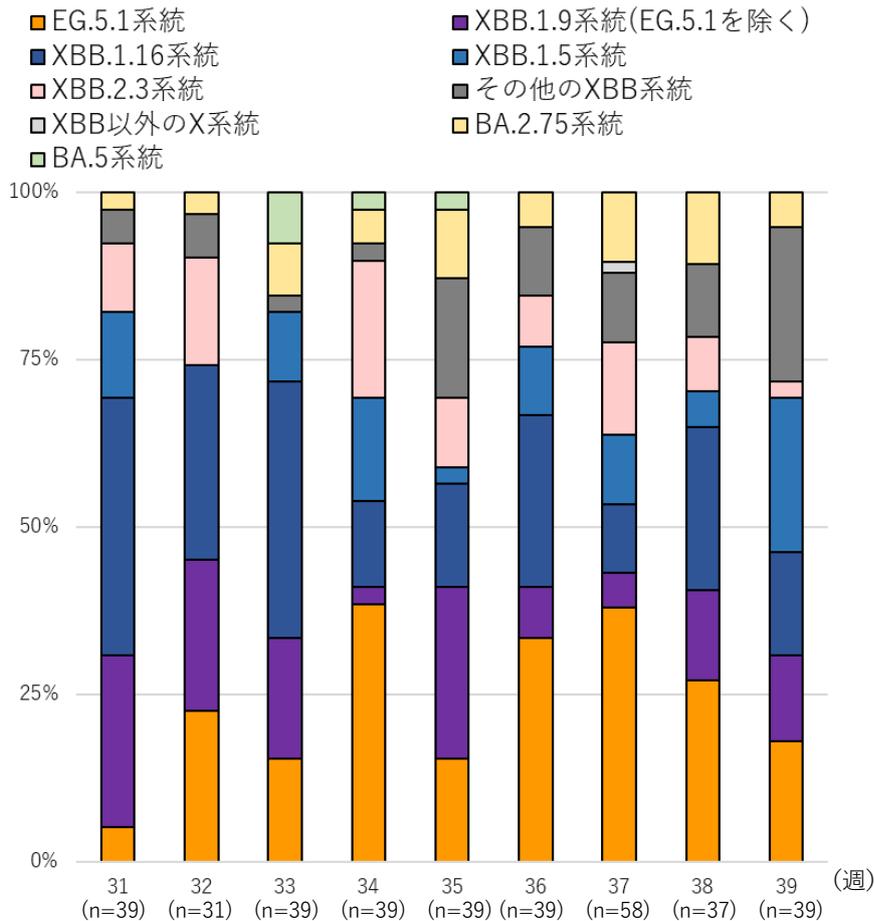
- ・インフルエンザ(30)
- ・咽頭結膜熱(3)
- ・手足口病(5)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



XBB 系統は第 39 週で約 95%を占め、EG. 5. 1 系統（XBB. 1. 9. 2 の子孫株）が約 18%を占めた。

「X」で始まる名前は遺伝子組換えで発生した系統に付けられる。

XBB は BJ. 1 (BA. 2. 10. 1 系統) / BM. 1. 1. 1 (BA. 2. 75. 3 系統) の組換え株である。

ゲノム解析は概ね前週の検体を用いて実施している。なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

衛生環境研究所においては、県内医療機関の協力のもと、新型コロナウイルスの PCR 陽性となった検体を毎週収集し、ゲノム解析を実施している。

🇯🇵 全国 2023 年第 38 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	202 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	67 例				
4類感染症	E型肝炎	5 例	エムボックス	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	1 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱	17 例
	日本脳炎	2 例	レジオネラ症	56 例	レプトスピラ症	3 例
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	36 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	10 例
	後天性免疫不全症候群	6 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	7 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10 例	水痘(入院例)	3 例	梅毒	163 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	百日咳	8 例	風しん	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比76%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は特になく、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症及びヘルパンギーナであった。

インフルエンザの報告数は35,021人(7.1)で前週比101%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.25)の約28.5倍であった。沖縄県(22.5)、千葉県(15.1)、愛媛県(14.1)からの報告が多く、年齢群別では15歳未満が全体の約7割を占めた。

新型コロナウイルス感染症の報告数は54,346人(11.0)で前週比63%と減少した。愛知県(16.6)、岐阜県(15.2)、茨城県(14.5)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2023年 第39週(09月25日～10月01日)

疾病名		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	812	946	286	59	166	110	28	201	2	75	19
	定点当り	14.00	16.31	17.88	5.90	23.71	22.00	7.00	33.50	1.00	12.50	9.50
新型コロナウイルス感染症	報告数	647	545	138	82	107	48	33	75	16	37	9
	定点当り	11.16	9.40	8.63	8.20	15.29	9.60	8.25	12.50	8.00	6.17	4.50
RSウイルス感染症	報告数	15	12	1	1	3	5				2	
	定点当り	0.42	0.33	0.10	0.17	0.75	1.67	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00
咽頭結膜熱	報告数	10	35	11	7			9	1		2	5
	定点当り	0.28	0.97	1.10	1.17	0.00	0.00	3.00	0.25	0.00	0.50	5.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	64	101	22	40	14	3	1	1		16	4
	定点当り	1.78	2.81	2.20	6.67	3.50	1.00	0.33	0.25	0.00	4.00	4.00
感染性胃腸炎	報告数	139	194	78	31	7	19	25	19	1	8	6
	定点当り	3.86	5.39	7.80	5.17	1.75	6.33	8.33	4.75	1.00	2.00	6.00
水痘	報告数	4	8	1	1						6	
	定点当り	0.11	0.22	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.50	0.00
手足口病	報告数	96	141	50	14	12	7	32	15	2	4	5
	定点当り	2.67	3.92	5.00	2.33	3.00	2.33	10.67	3.75	2.00	1.00	5.00
伝染性紅斑	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	12	16	6	4	2		1			1	2
	定点当り	0.33	0.44	0.60	0.67	0.50	0.00	0.33	0.00	0.00	0.25	2.00
ヘルパンギーナ	報告数	10	5	2	2							1
	定点当り	0.28	0.14	0.20	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	4	4								
	定点当り	0.03	0.11	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	1	7	5	1	1						
	定点当り	0.17	1.17	1.67	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ/新型コロナウイルス感染症定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2023年 第1週～39週保健所受理分)

2類感染症	結核	81例(1)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	10例	腸チフス	1例
4類感染症	重症熱性血小板減少症候群	12例	つつが虫病	10例
	レジオネラ症	7例(1)	レプトスピラ症	1例
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	7例(1)
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4例	後天性免疫不全症候群	4例
	侵襲性肺炎球菌感染症	10例	水痘(入院例)	3例
	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	2例
			カルバベネム耐性腸内細菌感染症	1例
			クロイツフェルト・ヤコブ病	4例
			侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
			梅毒	136例(2)
			百日咳	4例

()内は今週届出分、再掲